

日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
第3回 審議会

■日 時 : 平成27年11月30日(月) 13:30~15:35

■場 所 : 日田市役所 庁議室

■出席委員 : 15名中14名出席

飯田委員 日隈委員 石橋委員 高山委員 河津委員 永松委員 諫山委員
篠藤委員 岩里委員 伊藤委員 藤吉委員 笹山委員 海老原委員 大塚委員

■次第

1. 開会

2. 日田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略 諮問

3. 審議

(1) 日田市総合戦略について

- ・日田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案)について
- ・日田市まち・ひと・しごと創生 アクションプラン(案)について

4. 閉会

発言者	主 旨
事務局	<p>皆様こんにちは、定刻になりましたので、ただ今より「第3回日田市まち・ひと・しごと創生戦略審議会」を開催いたします。</p> <p>本日の会議に先立ちまして、市長より日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、諮問いたします。</p>
市長	<p>日田市まち・ひと・しごと創生法第9条に基づき、日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）を策定いたしましたので、審議会に諮問いたします。</p>
事務局	<p>ひきつづき市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日はお忙しい中「第3回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」にご出席いただきまして有難うございます。</p> <p>ただいま、日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）を諮問させていただきました。諮問いたしました総合戦略（案）の策定につきましては、様々な機会を捉え、多くの市民の方々の意見の聴取に努めて参りました。また、11月13日には、日田市議会から「日田市の地方創生に関する提言」をいただいております。これらの意見や提言を踏まえまして、今回の総合戦略（案）では、「日田市における安定した雇用を創出する」また、「日田市への新しい人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「人が共に支えあい安全・安心で快適に暮らせる地域を創る」、の4つの基本目標を掲げ、戦略を推進していくことといたしております。また、総合戦略を進めていくために具体的な事業等をまとめました平成28年度版の「日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」も合わせて策定いたしております。この総合戦略を着実に実行し、人口の将来展望を現実的なものにするためにも、市民や事業所等と行政が力を合わせてそれぞれの役割を十分に果たしていく必要があると考えております。</p> <p>また、これらは、日田市のみの取組みで成し遂げられるものではありません。東京圏への人口一極集中の是正、また少子化対策など、国主導の中長期的かつ実効性のある取組みも必要不可欠だと考えております。皆様方には充分なるご審議をいただき、よりよい計画となりますことを願っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。市長はこの後他の公務がありますので、ここで退席させていただきます。ご了承願います。</p> <p style="text-align: center;">～ 市長退席 ～</p> <p>先日発送させていただきました資料の確認をいたします。</p> <p style="text-align: center;">～ 資料の確認 ～</p> <p>また、本日は事務局以外に、福祉保健部、商工観光部、農林振興部、教育委員会の部長・課長が参加いたします。</p> <p>それでは会長より挨拶を頂き、引き続き、審議会設置要綱に基づき、進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>皆さんこんにちは。只今事務局からお知らせがありました。本審議会設置要綱第6条第5項に基づきまして「審議会において必要と認められたときは、審議会委員以外の者の出席を求め、この説明また意見を聞くことができる」という規定がございます。ご案内のように今日は盛り沢山の内容がございますので、その関係している部署の方々が参加することといたしています。</p> <p>先ほど市長から諮問がございました。12月22日に予定されております第4回、そして1月下旬か2月の中旬に予定されている、第5回にて、この諮問に答える形の方針を議論していきますので、ご審議の程をよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど申し上げましたように各施策等々多岐に渡ってございます。委員の皆様方には事前に資料が送付されていますので、今日はできるだけ幅広いご意見等々いただければと思います。</p> <p>それでは会次第に基づいて進行させていただきますが、まずは事務局の方から会議の成立について報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日の会につきましては、過半数の方が出席されております。会が成立することをご報告いたします。</p>
会長	<p>それではこれより審議を始めますが、事務局から全体を通しまして説明をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） ■基本目標及び基本的方向、具体的な施策 ■K P I ■今後のスケジュール <p style="text-align: center;">について説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。最初にご質問を受けていきたいと思っております。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>総合戦略（案）19ページ。U I ターンによる年間就職者数が5年間で70人となっておりますが、人口ビジョンでは、約400人を2020年までに150人減少して進めていく内容だと思うのですが、それとの整合性について、70人となる根拠を教えてください。</p>

会長	委員のご質問は、人口ビジョンのところで移住人数は150人減少とあるがここでは5年間で70人となっているとのご質問です。
委員	社会増減仮定値で、生産年齢層の流出を2020年まで年間150人減少とあります。この数字と先ほどの19ページにある70人の考え方です。
事務局	<p>人口ビジョンでは、生産年齢層の社会増減を、2020(平成32)年まで毎年150人ずつ増加させ、その後は増減が均衡すると推計しました。この推計で行くと、年間400人程度いる流出は、2015(平成27)年から2020(平成32)年の5年間で168人となります。</p> <p>ご質問の整合性についてですが、生産年齢層の社会増減を増やすには、様々な施策が考えられますが、まず挙げられるのが雇用となります。そのため、地元就職への支援を行うことで、雇用を増やし生産年齢層の増加を図ります。このうち、Uターンでの就職者数を5年間で70人と見込んでおり、この70人の根拠としては日田管内の市内企業の大卒者の求人状況等から算出しております。</p> <p>また、移住者については5年間で800人と見込んでおりますが、年間2,000人弱の転入者のうち、純粋に移住を理由として来る人の数の見込みを挙げております。</p>
会長	70人は就職した人で、家族とか子どもとか、あるいは就職ではなくて高齢になってから日田市への移住者数ということで5年間に800人になる。ということです。
委員	8ページの、数値目標で新たな雇用の創出数が5年間累計で1338人とありますが、雇用者と離職者の増減を含んでの人数ですか。
事務局	1338人の根拠の数字となりますが、資料の9ページにあります。新規就農者数が5年で135人、新規林業就業者数が125人、数の多いものと言いますと12ページ、ジョブカフェおおいた日田サテライト登録者の市内企業への就職者数が5年間で480人、求職者資格支援事業利用者の市内就職者数が5年間で75人などの合計が1338人です。どれだけの人が離職するかというのは想定しておりません。あくまでも雇用された人の合計です。
委員	<p>現状では職場への定着率の問題があります。雇用者数を掲げる場合、新規雇用者と離職者を増減した結果を新規雇用者として考える必要があるのではないかと。</p> <p>それと、「チャレンジする地場企業と創業を支援し雇用を生み出す」とありますが、新しい事業とか新しい業種ではなくて、経営を維持して後継者を育もうとしている企業もあります。そこへの支援はどう考えているのか。</p>
会長	雇用者数1338人については、新規雇用者の合計であり、離職者数を考慮していないのでは。それと、既存企業で経営を維持し、後継者を育もうとしている企業への支援についての考えは。との質問と意見でした。この件については後ほど回答いただく事にして、他に質問はありませんでしょうか。
委員	14ページの中小企業支援センターは、経営者のみの相談なのか、それとも労働者も含むのか。

	<p>16ページの技術者の育成で、看護師とありますが、看護師に限定した理由をお願いします。</p>
商工観光部	<p>中小企業支援センターについては、既存の企業と新たに創業する企業、全て相談窓口で対応できるように考えております。労働者については、ジョブカフェ等の若者が就労の相談ができるような対応を考えています。</p> <p>また、その支援センターには、経営相談士等の資格を持った方での対応を考えており、労働問題について関係機関と連携できる方法を考えております。</p>
福祉保健部	<p>看護師の人数を増やす理由として、「安心安全で快適に暮らせる」での観点から、医療の確保は非常に重要であると考えております。その中で、医師会との協議で、医師や医療を支える看護師が現在不足している実態があることから、この課題を解消するため、看護師の人材確保を図るものです。</p>
会長	<p>これより意見を伺いたいと思います。</p> <p>先ほど、委員からの意見がありましたので、事務局から回答をお願いします。</p>
事務局	<p>総合戦略に掲げた新規雇用者数についてですが、人口減少対策として、雇用の場を確保する事は重要なことです。これまで同様に、既存企業への支援は継続して取り組む方針は変わりません。その中でこの総合戦略では、特に新たな産業を興して雇用を生み出そうという方について、特に支援をして、新規雇用者の確保を図るものです。既存企業への支援をしないとのことではありません。</p>
会長	<p>委員皆様方それぞれご関心があるかと思えます。幅広い形でご意見を伺いたいと思っておりますので、委員の方全員にご意見を伺いたいと思えます。</p>
委員	<p>技術者の育成で看護師等の育成とありますが、看護師以外では何か考えられるところはないでしょうか。例えば日田の基幹産業である木材に関連した技術者とか、その他で考えている事はありますか。</p>
事務局	<p>林業、農業関係の人材育成については、9ページにあります「農林業を支える人材の確保・育成」として、意欲的な後継者や新規就農者等への支援、営農指導の強化などから支援を考えております。</p>
委員	<p>基本目標2の「日田市への新しい人の流れをつくる」で、ふるさと教育の推進とあります。具体的な施策の中に「地域社会と関わるキャリア教育の支援」で、「地元就職の促進を図ります」とありますが、雇用の場を広げることとても重要ですが、教育を通じて地元雇用に繋げる事もとても重要です。</p> <p>田舎暮らしをするにあたって、就職する場所が少ないことは課題です。教育の中でフリーランスとか事業を興す、自立できる力を伝える必要があります。教育の中で、都会に行かなくても地元で暮らしていける力を養う教育ができればと思いました。</p>
委員	<p>これまで市民意識調査等から、得た課題を検討し、総合戦略、アクションプランを策定したと思いますが、課題を解決する対応が掲げられてないのではと感じ、違和感があります。</p> <p>対策の方向性については示してありますが、どの課題に対してどの具体的な施</p>

	<p>策を充てるのかがわかりません。</p> <p>米子市の総合戦略では、現状に対する課題を挙げ、それに対する対応策と施策を挙げており、わかりやすい。日田市と米子市の総合戦略を比較すると、日田市の総合戦略はわかりにくいと感じる。日田市の策定に対する考え方は、大分県の総合戦略に合わせた考えなのか。</p>
事務局	<p>日田市版総合戦略は、現状の課題を整理した中で、具体的な対応を記述したものにになります。今後何に優先的に取組むべきかを記載しております。大分県が策定した総合戦略と概ね同じ流れになっております。</p>
委員	<p>この構成だとわかりにくいというのが現状です。</p>
事務局	<p>今回の総合戦略では、人口減少の課題が基本的にあり、総合戦略の構成については、自治体の独自性、地域性はあるものの、雇用の場がない、子育て支援関係が充分ではないために、子どもを産みたくても産めないなど、どの自治体も同じであり共通課題として考えています。</p> <p>この総合戦略を見ていただいた方々が、どのような取組みを今後実施していくのか理解しやすいように考え、このような構成にしたところです。</p>
委員	<p>10ページです。日田市アンテナショップ大丸福岡天神店での年間売上額1億円とありますが、これは妥当な金額なのか。また、産直野菜年間販売額とありますが、産直野菜とは何を指すのか。また、どこでの販売を考えているのか。</p>
農林振興部	<p>産直野菜の年間販売額についてですが、大分日田農協の産直野菜と大山町農協の産直野菜と合わせまして、アンテナショップ大丸福岡天神店での産直野菜の売上合計金額です。</p> <p>また、アンテナショップ大丸福岡天神店では現在、約20万円の売り上げです。1億円の目標額については、これまでに大丸デパートで実施した催事等の実績を基に売り場面積（15㎡）から推定したものです。</p>
委員	<p>売上目標額の1億円で採算を考えると難しいのではないかと思います。売上額については、必要経費を考慮した金額なのでしょうか。</p>
農林振興部	<p>現在は補助金として家賃相当を支援しておりますが、必要経費全てを含むと、売上額としては、1億6千万円から2億円ぐらいの売上が必要ではないかと予想されます。</p>
会長	<p>1億円の売上額を目標とするなら、根拠としては、必要経費を含めた額を目標としないと意味がないのではとの事です。</p>
委員	<p>24ページの「「ひた」を訪ねたくなる人の流れをつくる」で「地域資源を活用した産業観光事業の推進」の中に豆田町の歩きや屋形船の活用とありますが、11月13日に日田市議会から提言書が出ております。その提言書を踏まえて、本日の総合戦略は作成しているのでしょうか。それとも別に考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>11月13日に市議会より提言書をいただきました。提言書については、該当する部署で検討し、この総合戦略に反映できるものについては盛り込んでおります。</p>

委員	<p>提言書の中に観光開発、観光振興の問題が掲示されていますが、日田市の経済事業の一つに、「水郷日田」の取り組みが市民に浸透していないことに関して、申し上げたい。</p> <p>5年前に全国自治会連合会総会を日田市で開催しました。屋形船での懇親会を開催したところ非常に喜ばれて、何人かの方がまた日田に来て頂いています。</p> <p>しかし、開催中に常に漂ってくる水の匂いを改善する必要があるのではと意見を頂きました。水の再生については、市内の市民団体からも提言しているようですが、今回の地方創生でも、水郷日田の水の再生に関しては大きくは取り上げられていない。水が綺麗な所に生息する日田市の地域資源である鮎の生育の問題もあります。この点は水量の問題などもあり関係機関と協議しているようですが、難しい問題のようです。</p> <p>これらを含めて、今回の地方創生で日田の観光資源でもある水郷に関して、水質保全に対する施策が必要ではないかと思う。</p>
事務局	<p>市議会から様々なご提言をいただいております。総合戦略の策定の過程の中で色々と検討してきました。ご意見を頂いた水質の問題については、第6次総合計画の中で対応する考えから、総合戦略には盛り込んでいないところです。</p>
委員	<p>日田市にとって、水郷日田の再生は市内経済への影響が大きいと思います。関係機関との調整について、県、市による直訴が必要かと思います。この件に対しての受け止め方を伺いたい。</p>
会長	<p>事務局から冒頭にご説明がありましたが、この審議会で検討する総合戦略と来年度予定されている第6次総合計画策定の関連性について。この水環境については、総合計画の中で対応を図る考えとのことでした。</p>
委員	<p>基本目標2の「日田市への新しい人の流れをつくる」についてですが、現在頑張られている方々に対する施策がないと感じました。先ほどこの件については、これまでと同じように支援されるとの事ですが、新しい方を取り込む事だけに集中し、施策が目標になっている感じがします。</p> <p>現在住んでいる人の流出が進むのでは、との印象を受けます。私は、日田市で子育てをしています。日田はとても住みやすく、子育て環境についても、医療制度の充実や教育環境に対しても手厚く、とても生活しやすいです。</p> <p>現在頑張っている人達や日田で生活をしている人達が、住む環境の良さ、子育て環境の良さなどをPRする事が必要と思います。</p> <p>また、20ページの「通勤・通学時間帯における公共交通の利便性の向上」で、JRやバス会社との連携を進めます。とありますが、その目標値が30名と掲げていますが、少ないと感じます。この数値とした根拠を教えてください。</p> <p>次に、基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ですが、医療の問題が重要だと思います。この中には小児科医の確保等を盛り込んでいて、子育て世代から考えると、とてもありがたいと思います。</p> <p>また、妊娠、出産に対する支援の充実ですが、子どもを日田で産もうと思った</p>

	<p>場合に、一番は安心して産む場所であり、それが、産科医、後方支援病院です。現状の環境では対応されていますが、その先生方も高齢になっておりますので、先を見据えた対応の支援が必要と感じました。</p>
事務局	<p>20ページのKPI「公共交通で通勤・通学する者」の年間人数ですが、平成26年の152人から平成31年182人についてです。まず、現状値については、今年の7月に市内の日田駅を始め高速バス停留所で調査をした数値でございます。</p> <p>ただし、日田市に居住して、福岡市・久留米市方面への通勤している人数や、単身赴任として市外に居住している方についての数値は把握できておりません。</p> <p>今回の目標値設定にあたり、具体的な根拠となる数値をつかめずに現状値から単純に20%増加させた数値です。</p> <p>今後、JRやバス会社と連携を推進し、快速便やノンストップ便を運行することができれば福岡に単身赴任されている方が通勤可能になると設定しています。</p> <p>30ページの小児科医院に関しましては、第1回審議会でご意見をいただきましたことから、主管課と協議するなかで、今後検討が必要な事項として盛り込んだところです。</p> <p>また、産科医院の関係でございますが、現在は市内に3病院があるかと思いません。その3病院については、現状維持をしていただきたい思いは当然あります。</p>
委員	<p>総合戦略を策定する中で、私ども市内金融機関の各支店長と市長及び庁内関係部署の方々と先日意見交換をいたしました。</p> <p>その意見交換の中でもありましたが、人口減少問題について検討することで、雇用を生み出すということが大きな柱として重要です。また、新しいものを生み出すことも必要であります。中小企業の方と話しをしますと、特に小さな企業の方の一番の悩みは、後継者問題です。</p> <p>小さな企業であっても中身はいいものがあります。しかし後継者がいないことから廃業をし、雇用の機会が消失してしまうという現状です。</p> <p>我々金融機関としては、事業承継の部分や、M&Aで、その企業の雇用の場を繋げる動きに非常に力を入れています。</p> <p>また、既存企業の方への支援となるのですが、例えば、「チャレンジする地場企業と創業を支援し雇用を生み出す」の部分に、事業承継ということ盛り込み、後継者不足で悩んでいる企業へのフォローとして繋げていくことで、さらにいい雇用の維持・継続ができると思います。</p>
商工観光部	<p>事業承継問題については、実態調査、聞き取り調査等の取り組みを現在検討しております。</p> <p>また、中小企業の事業所につきましても、新規企業やあらたな創業を展開する事業者への支援だけでなく、既存の事業所につきましても、課題の認識や今後の展開など連携しながら取り組みたいと考えております。</p>
委員	<p>個人的になりますが、前回も意見をしましたが、今回の総合戦略を見て「日田市の総合戦略だ」というインパクトが足りないと思います。企業であったり、市</p>

	<p>民であつたり、職員だつたり、一緒に5年後はここに向かって行くと。</p> <p>また、5年後だけでなく、今回は、長期計画のスタートだと思います。大きな日田市のビジョンというか、非常に訴えるものが少ないと私は思います。</p>
事務局	<p>総合計画の策定が総合戦略の策定より前である場合は、これから先のビジョンあるいは将来像が掲げられ、それに向かって総合戦略の組み立てをしている自治体は多い。</p> <p>日田市では、第5次総合計画が平成28年度までの計画期間となっており、第6次総合計画を28年度中に策定する予定であり、その総合計画において、これから先の日田市の方向性について改めて示すことにしています。第6次総合計画を策定し、それに伴い必要であれば総合戦略を見直すことを考えております。</p> <p>方向性やビジョンを掲げた方がいいということなら、第6次総合計画の策定の中で考えたいと思います。</p>
委員	<p>職員の方で総合計画を理解、知っている方は少ないと思います。今回の総合戦略は、今策定を進めており、今後もそれぞれが浮かび上がるような計画だと思います。だからこそ、大きな旗印が必要で、日田市の将来この方向に向かっていく。その方向に向かうための計画がこの総合戦略である。とのインパクトのある表題が必要だと思います。</p>
委員	<p>私は、委員としてこの会に参加しておりますが、副市長に就任してこの総合戦略の策定に関わってきた者として、皆様のご意見はきちんと受け止めるべきと思っております。</p> <p>一方で、9月まで私は、大分県の総合戦略策定に関わってきた立場から言いますと、日田市は円卓会議や金融機関の意見交換など非常に皆さんの意見を伺っており、非常に丁寧に作り上げていることに、是非ご理解をお願いしたい。</p> <p>また、人口が減っているという現状に対してどうするかという話はとても大きな課題であり、日本全国、とりわけ地方においては、どこも同じ要素なのです。仕事がない、若者の転出が進むなど。</p> <p>このような中、計画の中身について、相似的になってしまう、特長がないという事になっているかもしれません。</p> <p>委員の発言にありました、水郷日田と観光の問題等は盛り込むべきかと思えます。行政では一生懸策定を進めているのですが、人口減少問題という課題なゆえにご理解をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>日田市の第1次産業の競争力を高め、地場産業をつくり、人の流れをつくって、結婚をして、出産をして、人が交流して支えあい暮らすという流れでいいと思います。</p> <p>それで、農業関係の後継者のことですが、婚活事業について、アクションプランでは、28年度から新たなものを発足、運営とあります。先ほど商工会議所青年部等の取組みの紹介もありましたが、19ページは大分県の連携事業とありますが、日田市の経済活動は福岡圏域が大変大きいです。</p>

	<p>総合戦略の策定後となりますが、進捗状況の確認については実施していくと思いますが、「Check」施策・事業の検証と「Action」施策・事業の見直しの中で、各年度のKPIも必要になってくると思いますので、今後提出いただければと思います。</p>
事務局	<p>結婚活動の支援については、今回は一つの施策しか盛り込んでおりませんが、今後どのような取組みが適した支援になるのか議論も含めて、積極的に取組みたいと思います。</p> <p>KPIについては、各年度の設定を準備していきたいと思います。</p>
委員	<p>婚活活動について、商工会議所青年部では5年前から取組んでおります。活動する団員が多くない中、年2回取組んでいます。今後支援策等に取り組む場合は、今まで一生懸命活動している団体も支援の対象として取り組んでもらいたい。</p>
事務局	<p>現在婚活の活動に取り組んでいる団体は、商工会議所青年部、三花公民館、上津江ファンクラブ実行委員会の3団体を把握しております。既に取り組まれている方々は経験等のノウハウを持っていると思われるので、当然一緒に取り組んでいく考えです。</p>
委員	<p>以前も意見しましたが、現状の産業構造はこれまでと比べて変わってきています。1次産業、2次産業が1割もない程度で、7割が第3次産業のサービス業です。産業構造が変化している事を念頭において様々な事を考えなければならない。</p>
会長	<p>日田市の基幹産業は確かに第1次産業と思います。就業者ベースでみると卸し小売業が一番多く、次に製造業。また女性では、福祉関連産業が非常に多い。</p> <p>富山和彦さんなどがこうした分野におけるイノベーション、例えばITを導入したり、生産性を上げたりなど今はチャンスの時なのだと本を書いております。</p>
委員	<p>18ページですが、高校と連携したキャリア教育は非常にいいと思います。</p> <p>2つ提案があります。1つ目は、「ふるさと教育の推進」とありますが、少しピンとこない。「ふるさと教育」との表現では回帰思考そのままの気がします。例えば、「魅力アップ教育」とかも工夫をお願いしたい。</p> <p>次に高校との連携ですが、高校の運営は県になりますので、連携を上手く進める工夫が必要かと思う。アクションプランで確認できるのは、小学校での総合的な学習しかありません。しかし、市内の高校では、少子化に伴い生徒を確保するため様々な手立てを図っています。</p> <p>また、現在取り組んでいる総合教育で、若い人にふるさとの魅力を感じて、その地域で仕事に就きたい、と目標となる教育を行っています。市内の高校を卒業し、大学に進学しても、市内に戻って仕事をしたいと思える施策をアクションプランに掲げた方がいいと思う。</p>
事務局	<p>現在の総合戦略では、高校生までを対象として盛り込んでおります。市内高校の先生と意見交換をさせていただいた時の話しですが、キャリア教育については全国的に取り組みが広がっているとのことでした。特に、岐阜県可児高校では、NPO団体と連携して、高校1年生は夏休み等に全生徒がキャリア教育をする仕</p>

	<p>組みができています。</p> <p>日田市で取組む場合、どのような手法が適しているのかなど、様々な方と意見交換しながら、さらに検討したいと思います。</p>
会長	<p>約50%が4年生大学、短大・専門学校を入れると約75%が進学をしています。従って、市外に進学機関があったとしても、その機関と連携して、日田市との関わりのパイプを作る事も必要かと思います。別府大学では、日田市と連携協定を締結し、交流しております。日田市は立地が良く、久留米、福岡市内、大分、別府が大体1時間圏内にあります。そこの教育機関との連携を模索し、取組む事は可能ではないかと思います。</p>
委員	<p>29ページの婚活イベント数は、行政がどれだけの取り組みをしたかということよりも、住民にもたらされる受益をあげる、アウトカムで設定した方がいいのではないかと。例えば、イベントにより成立した組数など。</p>
事務局	<p>5年間で何組と設定している自治体もあります。私共もKPIの設定については考えた結果、婚活イベント数、アウトカムであえて設定したところです。それを達成するアウトカムの数値を設ける根拠が難しいと判断したのが理由です。</p>
飯田委員	<p>回数については、民間の分と行政の分で考えるなら、もう少し数も増えると思います。</p>
委員	<p>9ページです。新規就農の取組みについてですが、アクションプランでも確認ができますが、これからの取組みに期待をしたいと思います。</p> <p>9ページの2番目に「営農指導の強化」についてですが、アクションプランでは農業者の栽培の指導をするとなっています。営農指導員がどこまで指導をできるのかについては難しいところがあります。今足りない部分は、新規就農や後継者の人達に活路を開くことに特化した指導体制の強化だと思います。</p> <p>土地を見つける事や、地域との関係を築く事については、市外から来た人は、自分の力で、見ず知らずの場所で取組む事は結構大変です。例えば経営の相談などをする場所が市にも農協にもないと思います。営農指導強化というなら、その部分を中心に取組んだ方がいいと思う。</p>
農林振興部	<p>営農就農の強化につきまして、新規就農者や農業後継者に対して営農指導ができていませんので、営農指導員を雇用し、指導員が直接農家を巡回し、農作物の生産の知識や農薬関係の指導ができ、学べる形を考えているところです。</p> <p>農地の斡旋等ですが、農地情報を取りまとめております、農業委員会と連携しながら、取組みたいと思います。また、大分県が統括しております、農業公社とも連携できるよう、農業委員会と農業振興課が事務的な連携をさらに強めたいと考えているところです。</p>
会長	<p>意見等はまだまだあると思います、冒頭に今後の予定で12月22日が次回開催との事です。次回の審議会では、「総合戦略（案）」について意見を伺う、パブリックコメントの段階での議論となるかと思います。従って、委員の皆様で、まだご意見があれば、それぞれにて、事務局に委員としての立場から、ご意見を連絡して</p>

	<p>もらいたい。それを受けて事務局では、パブリックコメントする総合戦略（案）について再度検討を進めてもらいたい。</p>
委員	<p>11ページの「森林・林業・木材産業の再クラスター化の推進」で、再クラスター化とあるが、言葉自体損をしていると思います。総合戦略で「森林・林業・木材産業の再クラスター化の推進」と言って、ピンと来る人は少ないのではないかと。少し工夫をしてもらいたい。</p> <p>また、14ページ、産業連関表を使って、地域内の経済が見える化ということは非常にいいことだと思います。それが中小企業支援センターの中で活かされて、支援の方向が活かされていく。5年後を見据えて取組むための総合戦略ですので、「見える化の検討」ではなく「見える化を進めます」としたほうがいいと思います。</p>
事務局	<p>産業連関表については、膨大なデータの収集と継続的な管理をしなければなりません。もう少しこの作成には検討する時間が必要と判断して現在の内容としたところですが、もう一度検討します。</p> <p>また、「再クラスター化」については、注釈を入れるか、表現を見直すかについても検討します。</p>
会長	<p>それでは本日の会議はこれで終了したいと思います。</p>